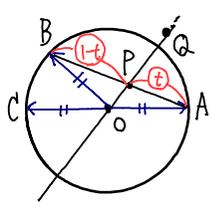


第5問 (選択問題) (配点 20)



平面上の点Oを中心とする半径1の円周上に、3点A, B, Cがあり、  
 $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = -\frac{2}{3}$  および  $\vec{OC} = -\vec{OA}$  を満たすとする。tを  $0 < t < 1$  を満たす  
 実数とし、線分ABを  $t : (1-t)$  に内分する点をPとする。また、直線OP上  
 に点Qをとる。

$|\vec{OA}| = |\vec{OB}| = |\vec{OC}| = 1$

(1)  $\cos \angle AOB = \frac{-2}{3}$  である。  
ア1, ウ (1点)

また、実数kを用いて、 $\vec{OQ} = k\vec{OP}$  と表せる。したがって

$\vec{OQ} = (k-t)\vec{OA} + kt\vec{OB}$  ..... ①  
エ (2点), オ (2点)

$\vec{CQ} = (k-t+1)\vec{OA} + kt\vec{OB}$   
カ (2点), キ (2点)

$\vec{OP} = (1-t)\vec{OA} + t\vec{OB}$

$\vec{OQ} = k\vec{OP}$

$= k(1-t)\vec{OA} + kt\vec{OB}$  となる。  
イ (2点), ウ (2点)

$\vec{OA}$  と  $\vec{OP}$  が垂直となるのは、 $t = \frac{3}{5}$  のときである。  
ケ (2点)

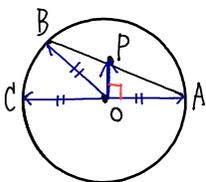
$\vec{CQ} = \vec{OQ} - \vec{OC}$

$= \vec{OQ} + \vec{OA}$  ( $\because \vec{OC} = -\vec{OA}$ )

$= (k-t+1)\vec{OA} + kt\vec{OB}$   
カ (2点), キ (2点)

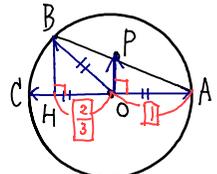
① ~ ⑤ の解答群(同じものを繰り返し選んでもよい。)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① $kt$       | ② $(kt+1)$   |
| ③ $(kt-1)$   | ④ $(k-kt+1)$ |
| ⑤ $(k-kt-1)$ |              |

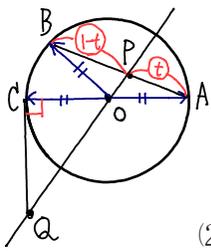


$\vec{OA} \perp \vec{OP}$  となるのは  $\vec{OA} \cdot \vec{OP} = 0$   
 $\vec{OA} \cdot \vec{OP} = \vec{OA} \cdot ((1-t)\vec{OA} + t\vec{OB})$   
 $= (1-t)|\vec{OA}|^2 + t\vec{OA} \cdot \vec{OB}$   
 $= (1-t) - \frac{2}{3}t$   
 $= 1 - \frac{5}{3}t$   
 $= -\frac{5}{3}(t - \frac{3}{5})$   
 これが0になるので  $t = \frac{3}{5}$

(補) 点Bから直線CAへ垂線BHを下すと  $PO \parallel BH$



$AP : PB = OA : OH$   
 $= 1 : \frac{2}{3}$   
 $= 3 : 2$   
 ∴ Pは線分ABを  $\frac{3}{5}$  に内分する



以下,  $t = \frac{\boxed{3}}{\boxed{5}}$  とし,  $\angle OCQ$  が直角であるとする。  
 $\angle OCQ = \frac{\pi}{2}$  とすると  $\vec{OC} \cdot \vec{CQ} = 0$

$$\begin{aligned} \vec{OC} \cdot \vec{CQ} &= -\vec{OA} \cdot \{(k-kt+t)\vec{OA} + kt\vec{OB}\} \\ &= -(k-kt+t)|\vec{OA}|^2 - kt\vec{OA} \cdot \vec{OB} \\ &= -k + kt - 1 + \frac{2}{3}kt \\ &= \frac{5t-3}{3}k - 1 \end{aligned}$$

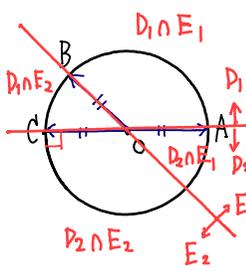
これを 0 にするから  $k = \frac{\boxed{3}}{\boxed{5t-3}}$  (2点)

(2)  $\angle OCQ$  が直角であることにより, (1) の  $k$  は

$$k = \frac{\boxed{3}}{\boxed{5}t - \boxed{3}}$$

シ (2点)

となることがわかる。



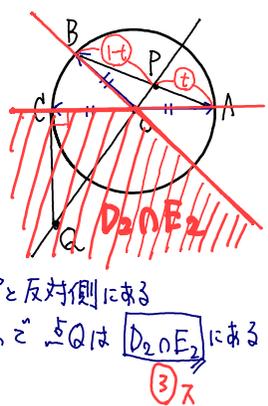
平面から直線 OA を除いた部分は, 直線 OA を境に二つの部分に分けられる。そのうち, 点 B を含む部分を  $D_1$ , 含まない部分を  $D_2$  とする。また, 平面から直線 OB を除いた部分は, 直線 OB を境に二つの部分に分けられる。そのうち, 点 A を含む部分を  $E_1$ , 含まない部分を  $E_2$  とする。

- $0 < t < \frac{\boxed{3}}{\boxed{5}}$  ならば, 点 Q は  $\boxed{\text{③}}$ 。  
 $D_2$  に含まれ, かつ  $E_1$  に含まれる  
 ス (2点)
- $\frac{\boxed{3}}{\boxed{5}} < t < 1$  ならば, 点 Q は  $\boxed{\text{①}}$ 。  
 $D_1$  に含まれ, かつ  $E_1$  に含まれる  
 セ (2点)

$\boxed{\text{ス}}$ ,  $\boxed{\text{セ}}$  の解答群 (同じものを繰り返し選んでもよい。)

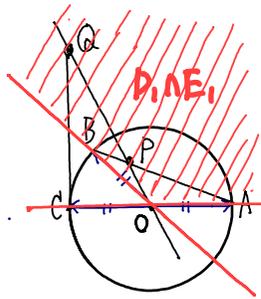
- $\text{①}$   $D_1$  に含まれ, かつ  $E_1$  に含まれる
- $\text{②}$   $D_1$  に含まれ, かつ  $E_2$  に含まれる
- $\text{③}$   $D_2$  に含まれ, かつ  $E_1$  に含まれる
- $\text{④}$   $D_2$  に含まれ, かつ  $E_2$  に含まれる

•  $0 < t < \frac{3}{5}$  ならば  
 $5t-3 < 0$   
 なる②から  
 $k < 0$   
 $\vec{OQ} = k\vec{OP}$   
 であるから



点 Q は点 O に関して点 P と反対側にある  
 点 P は  $D_1 \cap E_1$  にあるから点 Q は  $D_2 \cap E_2$  にある  
 ④ ス

•  $\frac{3}{5} < t < 1$  ならば  
 $5t-3 > 0$   
 なる③から  
 $k > 0$   
 $\vec{OQ} = k\vec{OP}$   
 であるから  
 点 Q は点 O に関して点 P と同じ側にある。  
 点 P は  $D_1 \cap E_1$  にある  
 ① セ



数学II・数学B

(3) 太郎さんと花子さんは、点Pの位置と $|\vec{OQ}|$ の関係について考えている。

$t = \frac{1}{2}$  のとき、①と②により、 $|\vec{OQ}| = \sqrt{\boxed{6}}$  とわかる。  
√(2点)

太郎： $t \neq \frac{1}{2}$  のときにも、 $|\vec{OQ}| = \sqrt{\boxed{6}}$  となる場合があるかな。  
√

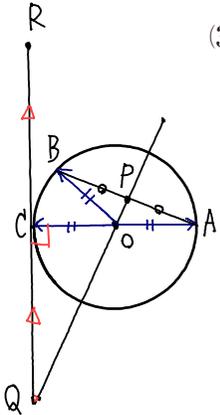
花子： $|\vec{OQ}|$  を  $t$  を用いて表して、 $|\vec{OQ}| = \sqrt{\boxed{6}}$  を満たす  $t$  の値について考えればいいと思うよ。  
√

太郎：計算が大変そうだね。←加え念のためやり直し作らね、大変さ味...

花子：直線OAに関して、 $t = \frac{1}{2}$  のときの点Qと対称な点をRとしたら、 $|\vec{OR}| = \sqrt{\boxed{6}}$  となるよ。  
√

太郎： $\vec{OR}$  を  $\vec{OA}$  と  $\vec{OB}$  を用いて表すことができれば、 $t$  の値が求められるよ。  
 そうだね。

補) 大変そう計算してやり直し作らね。  
 $\vec{OQ} = k \vec{OP}$  ( $k = \frac{3}{5t-3}$ )  
 $|\vec{OQ}|^2 = k^2 |\vec{OP}|^2$   
 $= k^2 |(1-t)\vec{OA} + t\vec{OB}|^2$   
 $= k^2 [(1-t)^2 + 2t(1-t)(-\frac{1}{2}) + t^2]$   
 $= k^2 [1-2t+\frac{4}{3}t+\frac{1}{3}t^2+t^2]$   
 $= k^2 [\frac{10}{3}t^2 - \frac{10}{3}t + 1]$   
 $= \frac{(\frac{3}{5t-3})^2 \cdot 10t^2 - 10t + 3}{3}$   
 $= \frac{3(10t^2 - 10t + 3)}{(5t-3)^2}$   
 この $|\vec{OQ}|^2 = (\sqrt{6})^2 = 6$ にするので  
 $3(10t^2 - 10t + 3) = 6(5t-3)^2$   
 $10t^2 - 10t + 3 = 2(25t^2 - 30t + 9)$   
 $40t^2 - 50t + 15 = 0$   
 $8t^2 - 10t + 3 = 0$   
 $(2t-1)(4t-3) = 0$   
 $\therefore t = \frac{1}{2}, \frac{3}{4}$



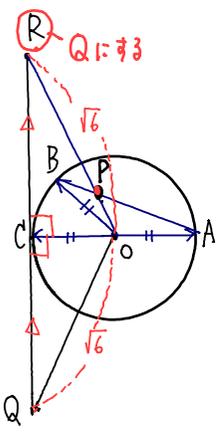
$t = \frac{1}{2}$  のとき  
 $\vec{OP} = \frac{1}{2}\vec{OA} + \frac{1}{2}\vec{OB}$   
 ②より  
 $k = \frac{3}{5 \cdot \frac{1}{2} - 3} = \frac{3}{-\frac{1}{2}}$   
 $= -6$   
 $\vec{OQ} = -6\vec{OP}$   
 $|\vec{OP}|^2 = \frac{1}{4}(|\vec{OA}| + |\vec{OB}|)^2$   
 $= \frac{1}{4}(|\vec{OA}|^2 + 2\vec{OA} \cdot \vec{OB} + |\vec{OB}|^2)$   
 $= \frac{1}{4}(1 - \frac{4}{3} + 1)$   
 $= \frac{1}{4} \cdot \frac{2}{3}$   
 $= \frac{1}{6}$   
 $\therefore |\vec{OP}| = \frac{1}{\sqrt{6}}$   
 $|\vec{OQ}| = 6|\vec{OP}|$   
 $= 6 \cdot \frac{1}{\sqrt{6}}$   
 $= \sqrt{6}$  √

直線OAに関して、 $t = \frac{1}{2}$  のときの点Qと対称な点をRとすると

$$\begin{aligned} \vec{CR} &= \boxed{-1} \vec{CQ} && \text{√(1点)} \\ &= \boxed{2} \vec{OA} + \boxed{3} \vec{OB} && \text{√(1点)} \end{aligned}$$

となる。

$t \neq \frac{1}{2}$  のとき、 $|\vec{OQ}| = \sqrt{\boxed{6}}$  となる  $t$  の値は  $\frac{\boxed{3}}{\boxed{4}}$  である。  
ト(3点)



直線OAに関して  $t = \frac{1}{2}$  のときの点Qと対称な点Rとすると  
 $|\vec{OR}| = |\vec{OQ}| = \sqrt{6}$   
 $\vec{CR} = \boxed{-1} \vec{CQ}$   
 $= -(\vec{OQ} - \vec{OC})$   
 $= 6\vec{OP} + \vec{OC}$  ( $\because \vec{OQ} = -6\vec{OP}$ )  
 $= 6(\frac{1}{2}\vec{OA} + \frac{1}{2}\vec{OB}) - \vec{OA}$   
 $= \boxed{2\vec{OA} + 3\vec{OB}}$  √

$\vec{OR} = \vec{OC} + \vec{CR}$   
 $= -\vec{OA} + (2\vec{OA} + 3\vec{OB})$   
 $= \vec{OA} + 3\vec{OB}$   
 $= 4(\frac{1}{4}\vec{OA} + \frac{3}{4}\vec{OB})$   
 $\text{直線ORと直線ABの交点にPが対応すると}$   
 $\vec{OP} = \frac{1}{4}\vec{OA} + \frac{3}{4}\vec{OB}$   
 なので点Pは線分ABを3:1 =  $\frac{3}{4} : \frac{1}{4}$  に内分する  
 ( $t = \frac{3}{4}$ )

$t = \frac{3}{4}$  のとき R と Q とすると  
 $|\vec{OQ}| = \sqrt{6}$  より  $\angle OCQ = \frac{\pi}{2}$   
 をみたす、  
 よって  $t = \frac{1}{2}$  のとき  $|\vec{OQ}| = \sqrt{6}$  となる  
 $t$  の値は  $t = \frac{\boxed{3}}{\boxed{4}}$  ト